

「節分」と言えば、「豆まき」

2月

【節分】

本来は季節が移り変わるときの意で、立春・立夏・立秋・立冬の前日をさしましたが、のちに立春の前日のみをいうようになり、現行の太陽暦では2月3日ないし4日となります。

節分行事の代表的なものは「豆まき」です。また「やいかがし」と言って、節分の晩に鰯の頭などを焼いて柗の葉を添えて戸口にさす呪術的な儀礼もあります。元々は焼き嗅がしの意で臭気によって鬼(邪霊)を追い払うというものです。

近年では関西を発祥とする縁起がよいとされる方向を向いて恵方巻き(太巻き)を食べる風習も広がっています。



あそんでみよう！

【準備】

- ・体育館、校庭や公園等の安全な場所を確保しておく。
- ・新聞紙を丸めた棒状のタッチ用スティックと目隠しを人数分用意しておく。
- ・鬼用のお面を複数用意しておく。
- ・鬼はお面の上から目隠しをする。

【進め方・ルール】

- (1) 鬼も含めて全員がタッチ用スティックを持ち、鬼役は目隠しをする。
- (2) 鬼が「節分」と言うと、周りにいる逃げる人は「豆まき」と必ず声に出して言わなければならない。鬼も逃げる人も走らないようにする。
- (3) 声の方向を判断して、鬼は逃げる人にタッチして、タッチされたら鬼を交替。
- (4) 周囲に安全のために複数人配置して、鬼が人や物にぶつかったりしないようにする。

※歩くスピードを見本でやってみて、皆にわかるように速度設定する。

※目隠し鬼の「鬼さんこちら、手の鳴る方へ」のアレンジで、アメリカでは、鬼が「マルコ」と言うと、他は「ポーロ」と応える。



鬼とタッチ用スティック



「豆まき」に鬼が反応



近づきすぎてアウト